



令和8年7月1日 修道保育所

梅雨の時期を迎え、各地で大雨や地震のニュースが聞かれました。自然災害はいつ起こるかわかりません。だからこそ、日頃から避難訓練を積み重ね『自分の命を守る』行動を身につけておくことの大切さを改めて感じています。園でも、子ども達が落ち着いて行動できるよう、一人ひとりに寄り添いながら訓練を行っていきます。

さて、園では暑さを感じる日が増え、水遊びやどろんこ遊びを思い切り楽しみ笑顔があふれています。水や泥の感触を味わいながら友達と一緒に夢中になって遊ぶ姿は、この時期ならではの楽しみです。先日はお忙しい中、保護者の方に園庭の桜の枝を剪定していただきました。ご協力いただきありがとうございました。そのご縁から、大きな切り株や一本木を譲っていただく事ができ、園庭にアスレチックコーナーが誕生しました。メンテナンスが整ったら使用できますが、子ども達は登ったり渡ったりできることを楽しみにしています。また、どんぐりの木の下には丸太のテーブルとイスも仲間入りしました。出来上がる様子を見ていた子ども達は「あそこでおやつを食べたい!!」と大喜び。その願いを叶え、お昼寝のあと木陰で手作りおやつを味わいました。いつもと違う場所で食べるおやつは格別だったようで、笑顔いっぱいの楽しい時間になりました。自然の中で遊び、季節を感じ、体をたくさん動かしながら過ごす毎日は、子ども達の心と体を大きく育ててくれます。自然に親しみながら子ども達の『やってみたい!』という気持ちを大切にできる環境づくりを続けてしていきたいと思います。

今月も健康管理に気をつけていただき、元気に過ごせますようよろしくお願いします。



〈今月の目標〉

○友だちや保育者とかかわりながら、夏ならではのあそびを楽しむ

○夏の野菜や草花に興味・関心を持つ

日	曜日	行事予定
7	火	七夕会 やまびこ号
8	水	身体計測
9	木	プール遊び始まり
22	水	教育アドバイザー訪問(加計小の先生と)9時～12時
23	木	おひさま巡回相談 10時～
17.24.30		川遊び(川のほとりで遊びます)
日	曜日	8月の行事予定
8/12.13.14		希望保育 ※別途にてお知らせします。
8/30	日	環境整備活動 ※別途にてお知らせします。

教育アドバイザー訪問(加計小の先生と)

今年度も小学校合同で『子どもの発達から見える私達の関わり』を勉強します。子ども達は普段と変わらない活動をします。お知りおきください。

おひさま巡回相談

金丸先生に子育ての心配事や悩みなど聞きたいことやご相談のある方はどうぞお越しください。
個人的な時間を設けますので、事前に保育所にお知らせください。

夏まつりについて

今年度は子ども達の成長にあった会にします。無理なく、いつも遊んでいる活動を『おまつりごっこ』として楽しみたいと計画しています。

7日は七夕会

短冊を後日送ります。子どもの願い事とおうちの方の願い事と名前も記入して3日までに持参してください。

もりみん山のこども園

6月は散歩をたくさん楽しみました。農道やあじさいロードを歩き、梅やあじさい、カタツムリなど季節の自然を探しました。マイバケツを持って歩き、見つけたかたつむりを大切に入れて運ぶ姿も見られました。また『お友達の家に行ってみよう』3km程の道のりを歩くことにも挑戦しました。保育者と手をつないで歌を歌ったりおしゃべりを楽しんだりしながら歩き、途中では職員宅でひと休み。お茶を飲んだり手を洗わせてもらったりしながら目的地を目指しました。友達の家につくと「ここ、たいたい(こいのぼり)」「パパ、あかのくるま」と自分なりの表現で一生懸命に案内してくれる姿がとても微笑ましく見られました。帰り道は「抱っこ(おんぶ)して」と甘える姿もあり、背中で交わす会話も楽しいひと時になりました。園に戻る頃には「いっぱい歩いたね」「たのしかったね」と満足そうな笑顔があふれていました。雨の日も部屋の中だけでは過ごしません。長ぐつを履いて園庭に出ると水たまりに入ったり、カサを逆さにして雨水をすくったり泥の感触を楽しんだり…。長ぐつに入った水を出し、足を握って靴下の水をしばったり「裸足がいい!」と足裏で泥や水の感触を味わったりする姿が見られました。雨の音や匂い、冷たさ水たまりの感触など五感をいっぱい使って自然を感じる経験を大切にしながら子ども達は毎日様々な発見を楽しんでいます。



ことばで伝える力を育てています

友達との関わりが深まる中で、思いがぶつかり合い、葛藤する姿も多くみられるようになってきました。おもちゃも取り合いになる事もありますが、それは友達が使っているものが魅力的に見え、『使ってみたい』という気持ちが育っている証でもあります。まだ、2歳児の子ども達は「貸して」と言葉で伝える前に、おもちゃをとってしまったり「ぼくの!」「わたしの!」と言って抱え込んだり、逃げたりすることもあります。そんな時は保育者が間に入り「貸して」「いいよ」「あとでね」と一つ一つ言葉を添えながらやり取りをつないでいます。今、大切に育てていきたいのは自分の思いを言葉で相手に伝える力です。「貸して」「手伝って」「一緒に遊ぼう」など小さな一言ですが、その言葉が友達と関わりを広げ、気持ちの行き違いを減らしてくれます。言葉にすることは、子ども達にとって簡単な事ではありません。しかし、保育者が気持ちに寄り添いながら丁寧に仲立ちする事で、少しずつ自分の思いを言葉で伝えられるようになっていきます。これからも、一人ひとりの気持ちを大切に受け止めながら安心して思いを伝えられる力を育てていきたいと思っています。

イヤイヤ期にも学びがいっぱい

『毎日イヤイヤ…どうしたらいいの?』
「イヤイヤ期は自我の芽生え」小さな子どもが大きな世界に体当たりで自分を確認していく「自分探し」の大切な時期です。本当にイヤ!なわけではなく、自分の気持ちを受け入れてくれるか、確かめているのかもしれない。
「イヤイヤ期≠親のイライラ期」感情的になって親がイライラすると、子どももイライラして悪循環になります。「イヤイヤ期≠親のイライラ期」にしないために、子どもの目線に立って共感し気持ちを切り替えてあげる事を繰り返していくうちに自分の気持ちに折り合いがつけられるようになり「ま、いっか」と思えるようになるといいですね。
～県教育委員会乳幼児教育センター『遊び』は『学び』より～

『トイレトレーニング』から

遊びに夢中になっていても「おしっこ」と自分からトイレに向かう姿が少しずつ増えてきました。一人ひとりの成長が感じられとても嬉しく思っています。トレーニングは無理に進めるのではなく「漏れてしまったらきれいにしようね」と安心できる関わりを大切にしています。くり返し経験する中トイレで排泄すると気持ちよい事を子ども達は少しずつ感じ始めています。また、濡れてしまっても自分から伝えられない事もあります。濡れた時は「濡れたね、気持ち悪かったね。今度は教えてね。」と優しく声をかけ安心して伝えられるようにしています。この時期の子ども達は『遊びたいからトイレに行きたくない』いう気持ちと同時に『濡れた事に気づいてほしい』『きれいにしてもらいたい』『優しく声をかけてもらいたい』という甘えの気持ちがあります。そうした心の育ちを大切に受け止めながら、一人ひとりのペースに合わせて自立に向かう気持ちを育てていきたいと思っています。



プールが始まります

子どもたちが楽しみにしている水遊びが始まります。今年は、9日(木)に『プール開き』を行います。プール遊びをするにあたって毎日の健康観察カードの記入、持ち物の用意をよろしくお願いします。

【毎日の準備物】

- ※必ず、持ち物に名前を記入して下さい。
- ・水着 ・水泳帽 ・タオルまたは バスタオル
- ・ラッシュガードまたは Tシャツ(紫外線対策・接触防止)・プール用ビーチサンダル
- ビニールバッグに入れて持って来て下さい。
- ・健康観察カード(プール記入欄のチェック)

※記入やサインがないと水遊びができません。

